

この地図は、満水位の農業用ため池の堤体が地震による被害を受けて決壊した場合に、氾濫水が到達すると想定される範囲を示したもので、大雨や、河川氾濫やその他災害は考慮していません。
 実際に、氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、この地図と異なる可能性があります。

凡例	浸水深 (m)
	1.0m以上
	0.5m~1.0m
	0.0m~0.5m

浸水の深さは、シミュレーション期間におけるその地点での最大の深さを示しています。

1. ハザードマップ（浸水想定区域図）の目的

このハザードマップ（浸水想定区域図）は、農業用ため池が満水状態時に、地震発生によって堤体が損傷を受け決壊した場合の浸水被害想定情報を分かりやすく提供することを目的に作成したものです。

2. 農業用ため池の役割

農業用ため池は農業用水の供給だけでなく、洪水調整機能も有しています。

4. 浸水区域図の作成方法

浸水想定区域とは

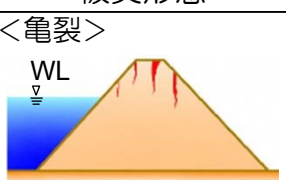
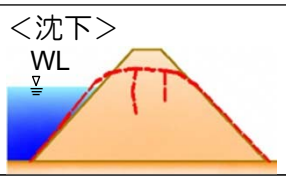
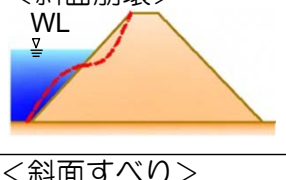
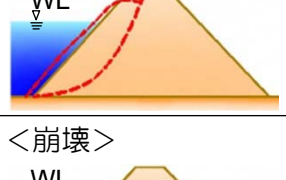
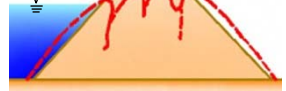
浸水想定区域は、最大流出量（右記参照）と、周辺の地形条件から、解析ソフトにより得られたシミュレーション結果を示したものです。そのため、降雨や河川の水による浸水の影響は考慮していません。

堤体決壊の想定

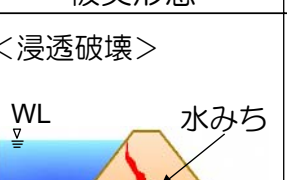
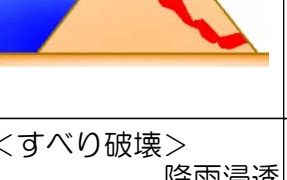
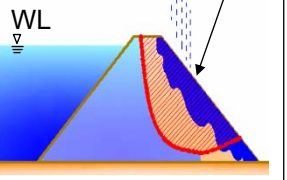
ため池が満水状態（総貯水量を貯水している状態）において、地震が発生した場合を想定しています。そのため、決壊が瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。

5. 堤体が決壊する被災形態とメカニズム

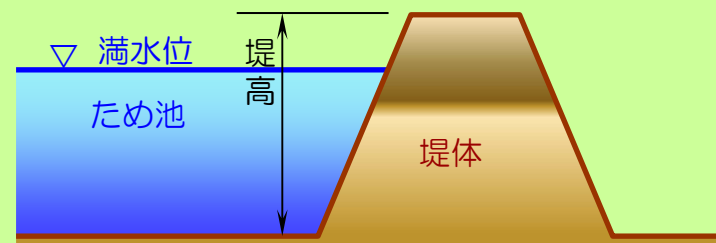
地震による場合

被災形態	被災のメカニズム
 <p><亀裂> WL</p>	堤体の頂部などに亀裂が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じる亀裂は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
 <p><沈下> WL</p>	堤体の形状をほぼ保ち、亀裂などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。
 <p><斜面崩壊> WL</p>	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。
 <p><斜面すべり> WL</p>	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
 <p><崩壊> WL</p>	堤体や地盤が大きく変化し崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

豪雨による場合

被災形態	被災のメカニズム
 <p><浸透破壊> WL</p>	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
 <p><すべり破壊> WL</p>	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することによって、法面ですべりが発生し破壊する場合があります。
 <p><越流破壊> WL</p>	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

3. 農業用ため池の名称・規模



名称	堤高 (m)	総貯水量 (m³)	最大流出量 (m³/s)	流出継続時間 (分)
昼飯池	13.80	39,500	251.886	5
奥溜池	7.00	28,000	163.920	6
瓢箪池	5.00	15,000	109.499	5
遊塚池	5.00	10,000	92.353	4
新田裏溜池	4.80	6,000	73.253	3
奥の池	0.50	1,500	15.827	3
青野新池	3.80	30,800	132.002	8

最大流出量：1秒間に流出する水の最大量
流出継続時間：ため池から水が流出し続ける時間

6. 農業用ため池を利用されている皆さんへ

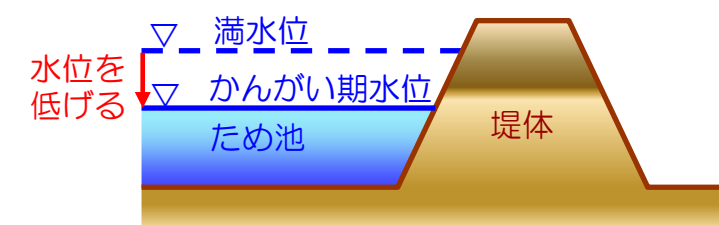
日常点検の実施

堤体・洪水吐・取水施設・安全施設の点検は、毎年1回は実施しましょう。ため池施設の異常を発見された場合は、管理者に連絡するとともに、ため池水位を下げてください。

低水位管理の実施

かんがい期は、必要水量から月ごとの水位を設定し、低水位管理を行ってください。

非かんがい期は、ため池の水を完全落水してください。



降雨前の事前放流による低水位管理の実施

豪雨が予報される場合は、降雨前に事前放流を行い、ため池の水位を下げてください。



7. 浸水想定区域図内の避難経路・避難場所の事前確認

ため池決壊による浸水到達時間は早いので、想定される浸水区域や深さなどを確認し、浸水想定区域をなるべく避けて、緊急避難できる身近な場所を事前確認しましょう。



8. 避難するときの注意事項

ため池の決壊と大雨が重なる時は、浸水想定区域よりも浸水範囲が広がり、水深が深くなる恐れがあります。身の危険を感じたら自主的に避難を開始してください。

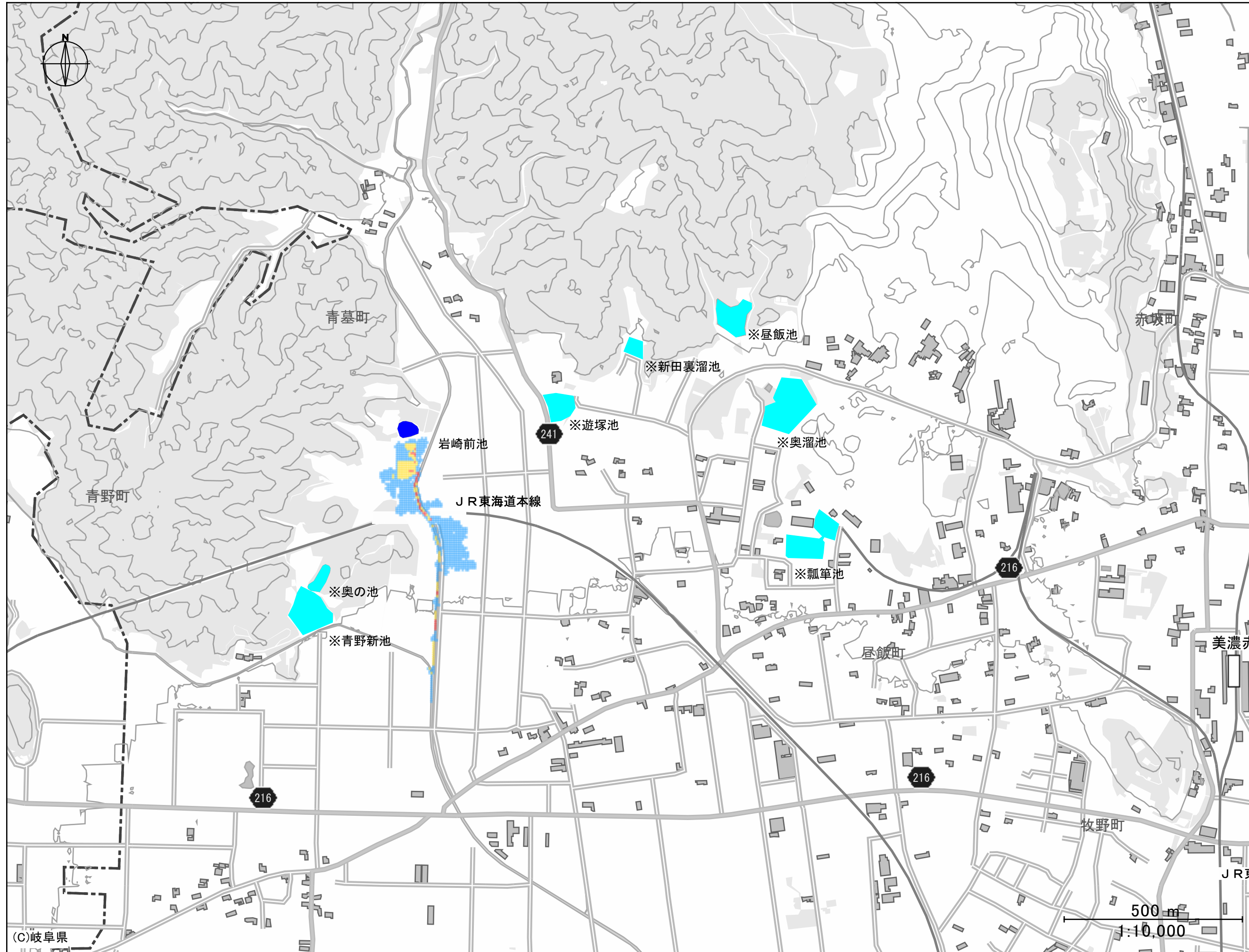
避難する際には、避難所が開設されているかを確認してから避難しましょう。

9. 避難所

避難所	所在地	電話番号
青墓小学校(拠点避難所)	青墓町 1-787	0584-91-0064
青墓幼保園	青墓町 2-228	0584-91-0262
青墓地区センター	昼飯町 270-51	0584-91-1013

問い合わせ先
大垣市経済部農林課

直通47-8632
代表81-4111（内線2545）



この地図は、満水位の農業用ため池の堤体が地震による被害を受けて決壊した場合に、氾濫水が到達すると想定される範囲を示したもので、大雨や、河川氾濫やその他災害は考慮していません。
 実際に、氾濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、この地図と異なる可能性があります。

歩行困難判定	水が浸かる深さ	
	浅い ←	→ 深い
水が流れる速さ	遅い ↑	速い ↓
	0.5m/s	1.5m/s
	可能	危険
	困難	危険

浸水の深さは、シミュレーション期間におけるその地点での最大の深さを示しています。

1. ハザードマップ（浸水想定区域図）の目的

このハザードマップ（浸水想定区域図）は、農業用ため池が満水状態時に、地震発生によって堤体が損傷を受け決壊した場合の浸水被害想定を分かりやすく提供することを目的に作成したものです。

2. 農業用ため池の役割

農業用ため池は農業用水の供給だけでなく、洪水調整機能も有しています。

4. 浸水区域図の作成方法

浸水想定区域とは

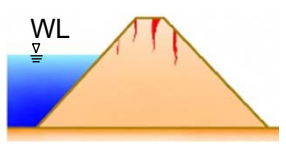
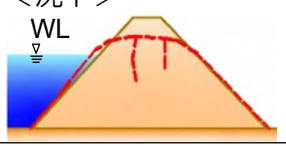
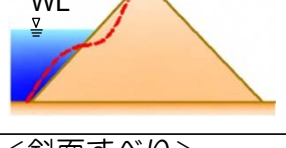
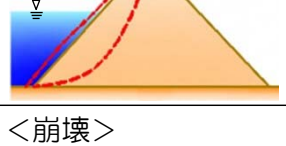

浸水想定区域は、最大流出量（右記参照）と、周辺の地形条件から、解析ソフトにより得られたシミュレーション結果を示したものです。そのため、降雨や河川の水による浸水の影響は考慮していません。

堤体決壊の想定

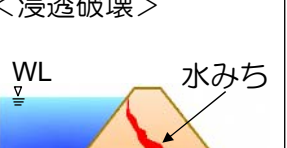
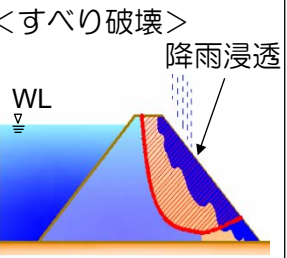
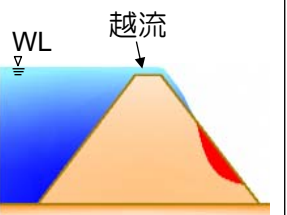
ため池が満水状態（総貯水量を貯水している状態）において、地震が発生した場合を想定しています。そのため、決壊が瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。

5. 堤体が決壊する被災形態とメカニズム

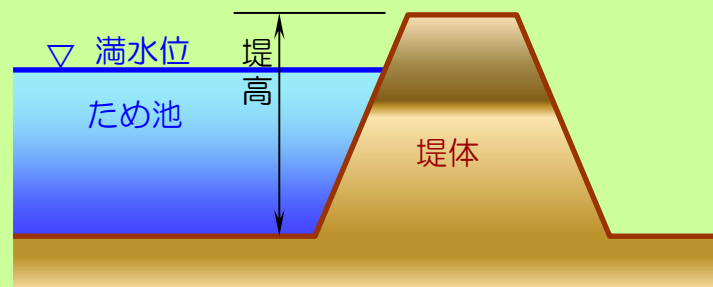
地震による場合

被災形態	被災のメカニズム
 <p><亀裂></p>	堤体の頂部などに亀裂が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じる亀裂は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
 <p><沈下></p>	堤体の形状をほぼ保ち、亀裂などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。
 <p><斜面崩壊></p>	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。
 <p><斜面すべり></p>	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
 <p><崩壊></p>	堤体や地盤が大きく変化し崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

豪雨による場合

被災形態	被災のメカニズム
 <p><浸透破壊></p>	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
 <p><すべり破壊></p>	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することによって、法面ですべりが発生し破壊する場合があります。
 <p><越流破壊></p>	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

3. 農業用ため池の名称・規模



名称	堤高 (m)	総貯水量 (m ³)
岩崎前池	1.70	5,000

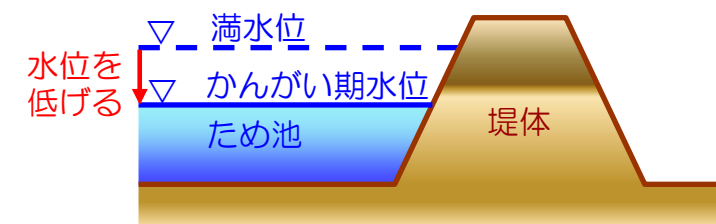
6. 農業用ため池を利用されている皆さんへ

日常点検の実施

堤体・洪水吐・取水施設・安全施設の点検は、毎年1回は実施しましょう。ため池施設の異常を発見された場合は、管理者に連絡するとともに、ため池水位を下げてください。

低水位管理の実施

かんがい期は、必要水量から月ごとの水位を設定し、低水位管理を行ってください。
非かんがい期は、ため池の水を完全落水してください。



降雨前の事前放流による低水位管理の実施

豪雨が予報される場合は、降雨前に事前放流を行い、ため池の水位を下げてください。



7. 浸水想定区域図内の避難経路・避難場所の事前確認

ため池決壊による浸水到達時間は早いので、想定される浸水区域や深さなどを確認し、浸水想定区域をなるべく避けて、緊急避難できる身近な場所を事前確認しましょう。



8. 避難するときの注意事項

ため池の決壊と大雨が重なる時は、浸水想定区域よりも浸水範囲が広がり、水深が深くなる恐れがあります。身の危険を感じたら自主的に避難を開始してください。

避難する際には、避難所が開設されているかを確認してから避難しましょう。

9. 避難所

避難所	所在地	電話番号
青墓小学校(拠点避難所)	青墓町 1-787	0584-91-0064
青墓幼保園	青墓町 2-228	0584-91-0262
青墓地区センター	昼飯町 270-51	0584-91-1013

問い合わせ先
大垣市経済部農林課

直通47-8632
代表81-4111（内線2545）